

議 案 第 17 号

令和 3 年度 山陽小野田市工業用水道事業会計予算について

地方公営企業法第 24 条第 2 項の規定により山陽小野田市工業用水道事業会計予算を別冊のとおり定める。

令和 3 年 2 月 22 日 提 出

山口県山陽小野田市長 藤 田 剛 二

令和 3 年度

山陽小野田市工業用水道事業会計予算書

令和3年度 山陽小野田市工業用水道事業会計予算

(総則)

第 1条 令和3年度山陽小野田市工業用水道事業会計予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第 2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水事業所数	3 事業所
(2) 年間工業用水契約水量	8,504,500 m ³
一日平均契約水量	23,300 m ³
(3) 年間工業用水配水量	8,504,500 m ³
(内訳) 日産化学㈱	2,372,500 m ³
田辺三菱製薬工場㈱	4,380,000 m ³
西部石油㈱	1,752,000 m ³
(4) 主要な建設改良事業	
浄水場施設整備事業	3,850 千円

(収益的收入及び支出)

第 3条 収益的收入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入		
第1款	工業用水道事業収益	288,048 千円
第1項	営業収益	280,932 千円
第2項	営業外収益	7,116 千円
支 出		
第1款	工業用水道事業費用	234,564 千円
第1項	営業費用	215,792 千円
第2項	営業外費用	15,772 千円
第3項	予備費	3,000 千円

(資本的收入及び支出)

第 4条 資本的收入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的收入額と資本的支出額の差額は36,181千円であるが、収入の長期貸付金償還金66,000千円は平成19年度決算において措置した額の一部が償還されたものであるため、収入が他にないことから支出額全額が補てんすべき額となる。よって29,819千円の補てんとして当年度分消費税資本的収支調整額350千円、当年度分損益勘定留保資金5,500千円、減債積立金23,969千円で補てんするものとする。）。

収 入		
第1款	資本的収入	66,000 千円
第1項	長期貸付金償還金	66,000 千円
支 出		
第1款	資本的支出	29,819 千円
第1項	建設改良費	5,850 千円
第2項	償還金	23,969 千円

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第 5条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 工業用水道事業費用・営業費用と工業用水道事業費用・営業外費用
- (2) 資本的支出・建設改良費と資本的支出・償還金

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第 6条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- (1) 職員給与費 50,964 千円
- (2) 交際費 150 千円

(他会計からの補助金)

第 7条 他の会計からこの会計へ補助を受ける金額は、次のとおりと定める。

会計名	金額(千円)	項目
山陽小野田市 一般会計	336	児童手当負担金

令和3年2月22日 提出

山口県山陽小野田市長 藤田剛二

予算に関する説明書

予算に関する説明書 注記表

当年度予算実施計画

当年度予定キャッシュ・フロー計算書

給与費明細書

前年度予定損益計算書

前年度予定貸借対照表

当年度予定損益計算書（参考資料）

当年度予定貸借対照表

収益的収支明細書（参考資料）

資本的収支明細書（参考資料）

予算に関する説明書 注記表

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

平成26年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用して会計処理を行い、財務諸表等を作成している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア 定額法によっている。

イ 主な資産の耐用年数

種類	法定耐用年数	代表例
建物	8～50年	コンクリート造浄水場管理棟…50年
構築物	10～60年	水道管…40年
機械及び装置	6～20年	各種ポンプ設備…15年、量水器…8年
車両運搬具	4～6年	軽自動車…4年
工具、器具及び備品	4～15年	パソコン…4年

(2) 有価証券の評価基準

移動平均法による原価法によっている。

(3) 各引当金の計上方法

退職給付引当金の所要額は簡便法で算出している。なお、会計年度任用職員以外の職員は、以下の割合にて各会計間で計上し、会計年度任用職員については、所属会計にて全額計上する。

水道事業会計 と 工業用水道事業会計	期末職員数按分
水道及び工業用水道事業会計 と その他の会計	双方に在職実績がある場合、該当職員の退職時点の各在籍年数按分

イ 賞与引当金は、当年度末における支給見込額(法定福利費を含む)を算出し、年度区分に従って費用処理する。

ウ 当年度から工業用水道事業会計負担の職員を1名減員し、水道事業会計負担とするところから、前年度までに計上した退職給付引当金及び賞与引当金のうち、これに相当する引当金は、当年度期首において工業用水道事業会計から水道事業会計に移管する。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は期中税抜方式によっている。

2 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

予定キャッシュ・フロー計算書は間接法により作成している。重要な非資金取引はない。

3 セグメント情報に関する注記

当事業は単一セグメントのため、セグメント情報は省略する。

4 リース資産に関する注記

リース資産に計上しなければならない契約はない。

ただし、所有権移転外ファイナンス・リース契約は、中小規模の公営企業の特例により、通常賃貸借取引に準じた会計処理とする。(現在 該当契約なし)

令和3年度山陽小野田市工業用水道事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

款	項	目	予定額(千円)	備 考
1	工業用水道事業収益		288,048	
	1	営業収益	280,932	
		1 給水収益	280,596	
		2 その他営業収益	336	(一般会計)児童手当負担金
	2	営業外収益	7,116	
		1 受取利息	316	
		2 長期前受金戻入	3,462	
		3 雑収益	3,338	県工水代替送水電気料負担金

支 出

款	項	目	予定額(千円)	備 考
1	工業用水道事業費用		234,564	
	1	営業費用	215,792	
		1 原水及び配水費	160,494	引当金繰入 (賞与 2,635)
		2 総係費	27,548	(賞与 1,421)
		3 減価償却費	27,450	
		4 資産減耗費	300	
	2	営業外費用	15,772	
		1 支払利息	2,169	企業債償還利息
		2 消費税	13,603	
	3	予備費	3,000	
		1 予備費	3,000	

資 本 の 収 入 及 び 支 出
収 入

款	項	目	予定額(千円)	備 考
1	資本の収入		66,000	
	1	長期貸付金償還金	66,000	
		1 他会計貸付金償還金	66,000	(病院会計)

支 出

款	項	目	予定額(千円)	備 考
1	資本の支出		29,819	
	1	建設改良費	5,850	
		1 浄水場施設費	3,850	
		2 営業設備費	2,000	
	2	償還金	23,969	
		1 償還金	23,969	企業債償還元金

令和3年度山陽小野田市工業用水道事業予定キャッシュ・フロー計算書
(令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	53,634
減価償却費	27,450
長期前受金戻入額	△ 3,462
受取利息及び受取配当金	△ 316
支払利息	2,169
有形固定資産除却損	300
未収金の増減額	330
未払金の増減額	12,523
引当金の増加額	△ 12,853
小計	79,775
利息及び配当金の受取額	316
利息の支払額	△ 2,169
業務活動によるキャッシュ・フロー	77,922

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 5,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,500

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

企業債の償還による支出	△ 23,969
一般会計又は他の特別会計からの償還金	66,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	42,031

資金増加額(又は減少額)	114,453
資金期首残高	814,737
資金期末残高	929,190

給 与 費 明 細 書

1 総括

区分	職員数		給与費				法定 福利費 (千円)	合計 (千円)
	特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)	手当 (千円)	計 (千円)		
本年度		6		24,557	18,245	42,802	8,162	50,964
前年度		7		29,390	19,096	48,486	9,539	58,025
比較		△ 1		△4,833	△851	△5,684	△1,377	△7,061

手当の内訳	区分	扶養 (千円)	住居 (千円)	通勤 (千円)	管理職 (千円)	夜間勤務 (千円)	時間外 勤務 (千円)	管理職 特別勤務 (千円)	児童 (千円)
	本年度	672	648	650	387	965	627	12	420
	前年度	456	15	574	387	1,338	259	2	120
	比較	216	633	76		△373	368	10	300
	区分	外勤 (千円)	集金 (千円)	危険 (千円)	電気技術 主任 (千円)	交替制 勤務 (千円)	緊急呼出 (千円)	期末勤勉 (千円)	退職 給付費 (千円)
	本年度	15		20	36	317	39	10,039	3,398
	前年度					422	9	12,304	3,210
	比較	15		20	36	△105	30	△2,265	188

2 給料及び手当の増減額の明細

区分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)		説明	備考
給料	△4,833	昇給に伴う増加分	419	平均昇給率 1.70%	
		その他の増減分	△5,252	異動等による増減分	
手当	△851	昇給に伴う増減分	298	期末勤勉手当	
		制度改正に伴う増減分	△108	期末勤勉手当	
		その他の増減分	△1,041	異動等による増減分	

3 給料及び手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区分		事務・技術（企業職）
令和3年1月1日現在	平均給料月額（円）	346,971
	平均給与月額（円）	378,370
	平均年齢（歳）	45.8
令和2年1月1日現在	平均給料月額（円）	324,571
	平均給与月額（円）	359,307
	平均年齢（歳）	42.9

(2) 初任給

区分	企業職（円）	一般会計の制度
		一般行政職（円）
高校卒	154,900	154,900
大学卒	188,700	188,700

(3) 級別職員数

区分	企業職		
	級	職員数（人）	構成比（％）
令和3年1月1日現在	2級	1	14.3
	4級	3	42.9
	5級	2	28.6
	6級	1	14.3
	計	7	100.0
令和2年1月1日現在	2級	3	42.9
	4級	1	14.3
	5級	1	14.3
	6級	1	14.3
	7級	1	14.3
	計	7	100.0

(級別の標準的な職務内容)

区分	1～2級	3級	4級	5級	6級	7級
企業職	その他の職務	主任主事 主任技師	係長	課長補佐	課長	次長 副局長

(4) 昇給

区分				企業職
本年度	職員数（A）（人）			6
	昇給に係る職員数（B）（人）			6
	号給数内訳	4号給	（人）	6
	比率（B）／（A）（％）			100.0
前年度	職員数（A）（人）			7
	昇給に係る職員数（B）（人）			7
	号給数内訳	4号給	（人）	7
	比率（B）／（A）（％）			100.0

(5) 特殊勤務手当

区分	事務・技術
給料総額に対する比率（％）	1.7
支給対象職員の比率（％）	83.3
支給対象職員の1人当たり平均支給月額（円）	7,117
代表的な特殊勤務手当の名称	交替制勤務手当、危険手当、外勤手当等

(6) 期末手当・勤勉手当

区分	支給期別支給率		支給率計 (月分)	職制上の段階、職務の級等 による加算措置	備考
	6月(月分)	12月(月分)			
本年度	2.225	2.225	4.45	有	
前年度	2.250	2.250	4.50	有	
一般会計の制度	2.225	2.225	4.45	有	

(7) 定年退職及び定年前早期退職に係る退職手当

区分	20年勤続の 者(月分)	25年勤続の 者(月分)	35年勤続の 者(月分)	最高限度 (月分)	その他の 加算措置等
支給率等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	早期退職者 2%~45%加算
一般会計の制度 (支給率等)	同上	同上	同上	同上	同上

(8) その他の手当

区分	一般会計の制度との異同	差異の内容
扶養手当	同一	
住居手当	同一	
通勤手当	同一	

令和2年度 山陽小野田市工業用水道事業予定損益計算書

(令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで)

(単位:千円)

1	営業収益			
	(1) 給水収益	259,392		
	(2) その他営業収益	<u>264</u>	259,656	
2	営業費用			
	(1) 原水及び配水費	134,875		
	(2) 総係費	34,546		
	(3) 減価償却費	27,106		
	(4) 資産減耗費	<u>100</u>	<u>196,627</u>	
	営業利益			63,029
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	580		
	(2) 長期前受金戻入	3,499		
	(3) 雑収益	<u>211</u>	4,290	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	<u>2,684</u>	<u>2,684</u>	<u>1,606</u>
	経常利益			64,635
5	予備費			
	(1) 予備費	<u>3,000</u>	<u>3,000</u>	<u>△ 3,000</u>
	当年度純利益			61,635
	前年度繰越利益剰余金			0
	その他未処分利益剰余金変動額			<u>31,958</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>93,593</u></u>

令和2年度 山陽小野田市工業用水道事業予定貸借対照表

(令和3年3月31日)

(単位:千円)

	資	産	の	部
1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
ア 土地			66,007	
イ 建物	82,175			
減価償却累計額	<u>△49,158</u>	33,017		
ウ 構築物	1,277,074			
減価償却累計額	<u>△617,527</u>	659,547		
エ 機械及び装置	392,035			
減価償却累計額	<u>△352,228</u>	39,807		
オ 車輛運搬具	2,777			
減価償却累計額	<u>△1,820</u>	957		
カ 工具・器具及び備品	4,336			
減価償却累計額	<u>△1,269</u>	3,067		
有形固定資産合計			802,402	
(2) 無形固定資産				
ア 電話加入権		<u>22</u>		
無形固定資産合計			22	
(3) 投資その他資産				
ア 長期貸付金		<u>66,000</u>		
投資その他資産合計			<u>66,000</u>	
固定資産合計				868,424
2 流動資産				
(1) 現金・預金			814,737	
(2) 未収金		注①	24,510	
(3) 前払費用			<u>11</u>	
流動資産合計				<u>839,258</u>
資産合計				<u>1,707,682</u>

注① 未収金には、3月調定分水道料金の全額 24,233千円を含む。

注② 当年度6月期末勤勉手当(法定福利費を含む)を支給するため、賞与引当金4,537千円を取り崩した。

注③ 当年度末処分利益剰余金には、現金の裏付けのない利益31,958千円を含む。
(補てん財源使用済積立金取崩額の一部)

負 債 の 部

3 固定負債			
(1) 企業債		92,614	
(2) 引当金			
ア 退職給付引当金	69,228		
イ 修繕引当金	<u>113,488</u>		
引当金合計		<u>182,716</u>	
固定負債合計			275,330
4 流動負債			
(1) 企業債		23,969	
(2) 未払金		17,250	
(3) 賞与引当金	注②	4,784	
(4) その他流動負債		<u>350</u>	
流動負債合計			46,353
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		314,450	
(2) 収益化累計額		<u>△220,024</u>	
繰延収益合計			<u>94,426</u>
負債合計			416,109

資 本 の 部

6 資本金			468,985
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
ア 受贈財産評価額	1,985		
イ 工事負担金	72,133		
ウ その他資本剰余金	<u>16,354</u>		
資本剰余金合計		90,472	
(2) 利益剰余金			
ア 利益積立金	18,000		
イ 減債積立金	108,372		
ウ 建設改良積立金	485,151		
エ 水源涵養林整備積立金	27,000		
オ 当年度未処分利益剰余金	注③ <u>93,593</u>		
利益剰余金合計		<u>732,116</u>	
剰余金合計			<u>822,588</u>
資本合計			<u>1,291,573</u>
負債資本合計			<u><u>1,707,682</u></u>

令和3年度 山陽小野田市工業用水道事業予定損益計算書

(令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで)

(単位:千円)

1	営業収益			
	(1) 給水収益	255,087		
	(2) その他営業収益	<u>336</u>	255,423	
2	営業費用			
	(1) 原水及び配水費	148,799		
	(2) 総係費	26,885		
	(3) 減価償却費	27,450		
	(4) 資産減耗費	<u>300</u>	<u>203,434</u>	
	営業利益			51,989
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	316		
	(2) 長期前受金戻入	3,462		
	(3) 雑収益	<u>3,036</u>	6,814	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	<u>2,169</u>	<u>2,169</u>	<u>4,645</u>
	経常利益			56,634
5	予備費			
	(1) 予備費	<u>3,000</u>	<u>3,000</u>	<u>△ 3,000</u>
	当年度純利益			53,634
	前年度繰越利益剰余金			93,593
	その他未処分利益剰余金変動額			<u>23,969</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>171,196</u></u>

令和3年度 山陽小野田市工業用水道事業予定貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部			
1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
ア 土地		66,007	
イ 建物	82,175		
減価償却累計額	<u>△50,806</u>	31,369	
ウ 構築物	1,277,074		
減価償却累計額	<u>△640,050</u>	637,024	
エ 機械及び装置	395,370		
減価償却累計額	<u>△355,171</u>	40,199	
オ 車輛運搬具	2,777		
減価償却累計額	<u>△2,156</u>	621	
カ 工具・器具及び備品	6,201		
減価償却累計額	<u>△1,269</u>	4,932	
有形固定資産合計			780,152
(2) 無形固定資産			
ア 電話加入権		<u>22</u>	
無形固定資産合計			<u>22</u>
固定資産合計			780,174
2 流動資産			
(1) 現金・預金		929,190	
(2) 未収金	注①	24,180	
(3) 前払費用		<u>11</u>	
流動資産合計			<u>953,381</u>
資産合計			<u>1,733,555</u>

注① 未収金には、3月調定分水道料金の全額 23,831千円を含む。

注② 上水道会計への職員の異動（1名）に伴い、退職給付引当金から9,890千円を繰り出した。
当年度退職手当として5,633千円支給するため、退職給付引当2,235千円を取り崩した。

注③ 上水道会計への職員の異動（1名）に伴い、賞与引当金から793千円を繰り出した。
当年度6月期末勤勉手当（法定福利費を含む）を支給するため、賞与引当金3,991千円を取り崩した。

注④ 当年度未処分利益剰余金には、現金の裏付けのない利益37,139千円を含む。
（補てん財源使用済積立金取崩額及び前年度繰越利益剰余金の一部）

負 債 の 部

3 固定負債			
(1) 企業債		73,111	
(2) 引当金			
ア 退職給付引当金	注②	57,103	
イ 修繕引当金		<u>113,488</u>	
引当金合計		<u>170,591</u>	
固定負債合計			243,702
4 流動負債			
(1) 企業債		19,503	
(2) 未払金		29,773	
(3) 賞与引当金	注③	4,056	
(4) その他流動負債		<u>350</u>	
流動負債合計			53,682
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		314,450	
(2) 収益化累計額		<u>△223,486</u>	
繰延収益合計			<u>90,964</u>
負債合計			388,348

資 本 の 部

6 資本金			468,985
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
ア 受贈財産評価額		1,985	
イ 工事負担金		72,133	
ウ その他資本剰余金		<u>16,354</u>	
資本剰余金合計			90,472
(2) 利益剰余金			
ア 利益積立金		18,000	
イ 減債積立金		84,403	
ウ 建設改良積立金		485,151	
エ 水源涵養林整備積立金		27,000	
オ 当年度未処分利益剰余金	注④	<u>171,196</u>	
利益剰余金合計		<u>785,750</u>	
剰余金合計			<u>876,222</u>
資本合計			<u>1,345,207</u>
負債資本合計			<u>1,733,555</u>

収 益 の 収 支 明 細 書

収

入

(税込額 単位:千円)

款	項	目	節	当年度予定額	前年度予定額	比較	附記
工業用水道事業	収益			288,048	289,735	△ 1,687	
	営業	収益		280,932	285,451	△ 4,519	
		給水	収益	280,596	285,331	△ 4,735	
			水道料金	280,596	285,331	△ 4,735	(78,684) 日産化学 (142,034) 田辺三菱製薬工場 (59,878) 西部石油
		その他営業	収益	336	120	216	
			他会計負担金	336	120	216	(一般会計)児童手当
	営業外	収益		7,116	4,284	2,832	
		受取	利息	316	575	△ 259	
			預金利息	52	47	5	
			貸付金利息	264	528	△ 264	(病院会計)
		長期前受金	戻入	3,462	3,499	△ 37	
			長期前受金戻入	3,462	3,499	△ 37	
		雑	収益	3,338	210	3,128	
			その他雑収益	3,338	210	3,128	県工水代替送水電気料負担金

支

出

(税込額 単位:千円)

款	項	目	節	当年度予定額	前年度予定額	比較	附記
工業用水道事業	費用			234,564	255,734	△ 21,170	
	営業	費用		215,792	239,807	△ 24,015	
		原水及び配水	費	160,494	177,260	△ 16,766	
			給料	15,970	16,387	△ 417	職員4名
			手当	7,427	7,169	258	
			賞与引当金繰入額	2,635	2,680	△ 45	次年度6月期末勤勉手当支給原資(12~3月発生分)
			法定福利費	4,922	4,974	△ 52	

款	項	目	節	当年度予定額	前年度予定額	比較	附記
			厚生福利費	24	24		
			被服費	46	53	△ 7	
			備用品費	330	330		
			燃料費	105	298	△ 193	
			光熱水費	52	54	△ 2	
			印刷製本費	104	101	3	
			通信運搬費	31	31		
			委託料	2,647	18,024	△ 15,377	
			賃借料	61	404	△ 343	
			修繕費	10,010	11,275	△ 1,265	
			動力費	49,704	47,171	2,533	浄水場ポンプ 電気料金等
			負担金	6,288	7,676	△ 1,388	厚東川ダム維持管理費等
			受水費	58,922	59,390	△ 468	県営厚東川工業用水道使用料
			公租公課	1,216	1,219	△ 3	
			総係費	27,548	35,141	△ 7,593	
			給料	8,587	13,003	△ 4,416	職員2名
			手当	4,038	4,666	△ 628	
			賞与引当金繰入額	1,421	2,161	△ 740	次年度6月期末勤勉手当支給原資（12～3月発生分）
			法定福利費	2,566	3,775	△ 1,209	
			退職給付費	3,398	3,210	188	退職3名 3,398(上・工水按分)
			厚生福利費	63	67	△ 4	
			旅費	220	220		
			被服費	18	40	△ 22	
			備用品費	188	219	△ 31	
			燃料費	108	98	10	
			光熱費	139	131	8	
			印刷製本費	72	72		

款	項	目	節	当年度予定額	前年度予定額	比較	附記
			通信運搬費	66	99	△ 33	
			広告費	11	11		
			委託料	2,603	2,564	39	
			手数料	24	56	△ 32	
			賃借料	228	227	1	
			修繕費	550	550		
			研修費	333	165	168	
			食糧費	10	10		
			負担金	569	1,454	△ 885	
			保険料	190	177	13	
			公租公課	75	95	△ 20	
			図書費	220	220		
			交際費	150	150		
			諸会費	150	150		
			用地管理費	1,550	1,550		
			雑費	1	1		
			減価償却費	27,450	27,106	344	
			有形固定資産減価償却費	27,450	27,106	344	
			資産減耗費	300	300		
			固定資産除却費	300	300		
			営業外費用	15,772	12,927	2,845	
			支払利息	2,169	2,684	△ 515	
			企業債利息	2,169	2,684	△ 515	定期償還利息
			消費税	13,603	10,243	3,360	
			消費税	13,603	10,243	3,360	
			予備費	3,000	3,000		
			予備費	3,000	3,000		
			予備費	3,000	3,000		

資 本 的 収 支 明 細 書

収

入

(税込額 単位:千円)

款	項	目	節	当年度予定額	前年度予定額	比較	附記
資本	の	収入		66,000	66,000		
		長期	貸付金償還金	66,000	66,000		
		他	会計貸付金償還金	66,000	66,000		
		他	会計貸付金償還金	66,000	66,000		(病院会計)

支

出

(税込額 単位:千円)

款	項	目	節	当年度予定額	前年度予定額	比較	附記
資本	の	支出		29,819	52,304	△ 22,485	
		建設	改良費	5,850	28,850	△ 23,000	
		浄水	場施設費	3,850	3,850		
			浄水場施設整備事業費	3,850	3,850		直流電源装置更新
		送水	施設費		22,000	△ 22,000	
			送水施設改良事業費		22,000	△ 22,000	
		営業	設備費	2,000	3,000	△ 1,000	
			固定資産購入費	2,000	3,000	△ 1,000	
		償還	金	23,969	23,454	515	
			償還金	23,969	23,454	515	
			企業債償還金	23,969	23,454	515	定期償還元金

